

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年11月30日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから11月30日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、明日の委員会ですけれども、時間は既に発表していますけれども、午後、13時からになります。

議題は4つあります。

議題の1つ目が、東海第二の特定重大事故等対処施設に関する審査結果の取りまとめということで、特重の審査書の取りまとめは、BWRとしては今回最初ということになります。今後、関係行政機関の意見を聞いて、改めて委員会に諮って許可となるということになります。

次が、議題の2つ目、令和3年度補正予算です。

既に記者の皆さんには御説明しているものでありますけれども、先週金曜日、26日に閣議決定されました補正予算の案を委員会に報告するというものになります。一般会計が3億円、エネルギー特会が45億円の計48億円ということになります。

議題の3つ目ですけれども、令和3年度、第2四半期における専決処理ということで、これは定例で四半期ごとに行っている委員会としての決定を、長官までの決裁で専決処理したものの事後報告ということになりまして、10の類型の手続の計58件、専決処理をされましたということが報告されます。

議題の4つ目ですけれども、第13回日中韓規制者会合ということで、通称、TRMと呼んでいますけれども、その結果について、出席した伴委員から報告するというものです。今日から明日の午前中にかけて日本主催でウェブ会議で行われている会議というものになります。

その他会合は、新しいものは入っていないので、以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—